

シラバス（授業概要） 2025 年度

2025 年度

授業科目名		エアラインTOEIC対策Ⅱ																
学科・コース		国際エアライン科／エアラインコース																
担当教員		松永 清美																
授業形態(主)		授業形態		履修年次		履修学期		必修・選択		総時間数		単位						
講義		・演習		2		通年		必修		60		4						
授業目的 到達目標		エアライン業界への就職に必要なTOEICのスコア600点以上の取得と自己最高得点を目指します。生活や就職先で即戦力として使えるフレーズを習得します。																
授業手法		・対面		○		・遠隔				・対面/遠隔				・オンデマンド				
アクティブ ラーニング		事前学習型授業				反転授業				調査授業				フィールドワーク				
		双方向アンケート				ペアワーク		○		グループワーク		○		ロールプレイ		○		
		プレゼンテーション		○		PBL		○		模擬授業				その他				
授業 内容・ 授業 計画	時間数		内容概略								わかる目標・できる目標							
	1～6		授業説明、模擬テスト、解答・解説								① TOEIC各パートの特徴を理解する ② 英語の音声に近い発音の習得をする ③聴解力を高める ④実際に仕事先で使えるフレーズや単語を身につける ⑤目標の設定と自己最高点を目指すための課題を把握する ⑥アクティブラーニングを取り入れ、学ぶことに主体性を持つ							
	7～12		Unit1 ～3															
	13～18		TOEIC模試、解答・解説															
	19～24		Unit4～6															
	25～30		Unit7～9															
	31～32		前期末テスト															
	33～38		TOEIC模試、解答・解説															
	39～44		Unit10～12															
	45～50		Unit13～15															
	51～58		読解、総復習															
	59～60		後期期末テスト															
成績評価方法		期末テスト・小テスト50% 平常点（出席率・授業態度・課題提出）50%																
使用テキスト／教材		『SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST INTERMEDIATE』 『TOEICボキャブラリーブスター』																
関連科目		エアラインTOEIC対策Ⅰ、TOEIC上級【必修選択科目】																
その他		電子辞書、または英和辞典を持参すること																

2025 年度

授業科目名		エアライン英語															
学科・コース		国際エアライン科／エアラインコース															
担当教員		阪本 知恵															
授業形態(主)		授業形態		履修年次		履修学期		必修・選択		総時間数		単位					
演習		・ 講義		2		通年		必修		30		1					
授業目的 到達目標		接客英語、航空基礎英語、訓練での知識を英語で学び、様々な表現や単語に触れることで英語力の底上げを図ります。サービスロールプレイでは他コースの学生に英語でおもてなしをします。															
授業手法		・ 対面		○		・ 遠隔				・ 対面/遠隔				・ オンデマンド			
アクティブ ラーニング		事前学習型授業		○		反転授業				調査授業				フィールドワーク			
		双方向アンケート				ペアワーク		○		グループワーク		○		ロールプレイ		○	
		プレゼンテーション		○		PBL				模擬授業				その他			
授業 内容・ 授業 計画	時間数		内容概略								わかる目標・できる目標						
	1～2		概要説明 1年次習得の復習								① 航空業界で使われる表現がわかる ② 客室実習Ⅰで学んだサービスを英語で提供できる ③ 想定される機内会話の様々なパターンを知り、表現を習得する ④ 他コースの学生にも自然な表情と所作でサービスできる ⑤ 英語アナウンスの表現を知る。 ⑥ 航空業界だけでなく観光業で役立つ表現を身につける						
	3～8		テキスト演習														
	9～10		英語アナウンス														
	11～18		CL1連携授業準備 概要GRP分け、シナリオ作成														
	19～22		ロールプレイ練習														
	23～24		CL1連携授業リハーサル&本番														
	25～30		テキスト演習 観光業界英語を学ぶ														
成績評価方法		[前] 出欠席 (30%) 授業参加度 (30%) ロールプレイ評価 (40%) [後] 出欠席 (30%) 授業参加度 (30%) 授業内小テスト [前+後] (40%)															
使用テキスト ／教材		English for Tourism Professionals 講師作成プリント															
関連科目																	
その他		※実務経験のある教員が担当する科目である															

2025 年度

授業科目名		客室実習Ⅱ																
学科・コース		国際エアライン科／エアラインコース																
担当教員		阪本 知恵																
授業形態(主)		授業形態		履修年次		履修学期		必修・選択		総時間数		単位						
実技				2		通年		必修		60		2						
授業目的 到達目標		客室実習Ⅰで学んだ基本を生かし、想定されるイレギュラー、クレーム対応等、状況に合わせた臨機応変な対応ができることを目標とします。コース外連携授業や学外の方との連携授業を通し、実践力・対応力を身につけます。																
授業手法		・対面		○		・遠隔				・対面/遠隔				・オンデマンド				
アクティブ ラーニング		事前学習型授業		○		反転授業				調査授業				フィールドワーク				
		双方向アンケート				ペアワーク		○		グループワーク		○		ロールプレイ		○		
		プレゼンテーション		○		PBL				模擬授業				その他				
授業 内容・ 授業 計画	時間数		内容概略								わかる目標・できる目標							
	1～6		サービス業務実習復習								① 客室実習Ⅰで学んだものをスムーズに発揮できる ② 学外の方に接客ロールプレイにて評価をもらい成長に繋げることができる ③ 適切な言葉遣い、表情コントロールができる ④ イレギュラー対応ができる ⑤ 幅広い年齢層に対応できる ⑥ 状況に応じた立居振舞ができる ⑦ グループ内で主体的にアイデアを発想できる ⑧ グループ内で協力し、サービスを組み立てることができる ⑨ ロールプレイ実習では航空専門用語を積極的に使用し対応できる							
	7～12		保安業務実習復習															
	13～20		サービス実践授業準備															
	21～22		サービス実践授業															
	23～30		AA/AS コース外連携授業 準備															
	31～40		AA/AS 学外連携合同実習 準備（ま・あ・る）															
	41～42		前期評価															
	43～46		AA/AS 学外連携合同実習（ま・あ・る館外講座）															
	47～48		AA/AS コース外連携授業															
	49～60		AA/AS 学外連携合同実習（高齢者施設訪問）															
成績評価方法		〔前〕出欠席（20％）企業様評価・レポート（25％）評価対象ロールプレイ（55％） 〔後〕出欠席（20％）課題・取組姿勢（40％）評価対象ロールプレイ・レポート（40％）																
使用テキスト／教材		・エアラインテキスト ・講師作成プリント等																
関連科目		客室実習Ⅰ、航空基礎知識																
その他		・身だしなみを整えて受講すること（女子学生はスカーフ着用必須） ・実務経験のある教員が担当する科目である																

2025 年度

授業科目名		面接対応Ⅱ															
学科・コース		国際エアライン科／エアラインコース															
担当教員		阪本知恵															
授業形態(主)		授業形態		履修年次		履修学期		必修・選択		総時間数		単位					
実技				2		通年		必修		30		1					
授業目的 到達目標		一年次に身につけた自己表現力と会話を更に磨き、航空業界の面接に対応できる力を養います。就職後に社会人としても生かせるプレゼンテーション力を身につけます。															
授業手法		・対面				・遠隔				・対面/遠隔				・オンデマンド			
アクティブ ラーニング		事前学習型授業				反転授業				調査授業				フィールドワーク			
		双方向アンケート				ペアワーク		○		グループワーク		○		ロールプレイ			
		プレゼンテーション		○		PBL				模擬授業				その他			
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略								わかる目標・できる目標							
	1～2	企業が求める人材像の理解と自己分析								①自己分析に基づき長所をアピールできる。 ②企業が求める人材像を理解する。 ③②に基づき自己表現できる。 ④会話の中で自身の意見を伝えられる。 ⑤会話の中で自身の興味関心を伝えられる。 ⑥感じの良い会話が続けられる。 ⑦ディスカッションで自分の考えをまとめて話せる。 ⑧問題解決に積極的に取り組める。 ⑨表現力を高め、課題に対してのプレゼンテーションができる。							
	3～16	模擬面接：企業別対策															
	17～24	模擬面接：グループディスカッション															
	25～30	プレゼンテーション															
成績評価方法		出欠席：10%　取り組み姿勢：40%　プレゼンテーション、製作物：50%															
使用テキスト／教材		面接テキスト(オリジナル)・講師作成プリント等															
関連科目		面接対応Ⅰ															
その他		※実務経験のある教員が担当する科目である															

シラバス（授業概要）		2025 年度
授業科目名	サービス介助	

シラバス（授業概要）		2025 年度
授業科目名	サービス介助	

シラバス（授業概要）											2025 年度			
授業科目名		サービス介助												
学科・コース		国際エアライン科／エアラインコース												
担当教員		大川 香織・小澤 恵巳子												
授業形態（主）		授業形態		履修年次		履修学期		必修・選択		総時間数		単位		
演習		・講義		2		通年		必修		30		1		
授業目的 到達目標		機内で使われる接客手話の習得を目指します。また、サービス介助士資格を持つ教員からお手伝いが 必要なお客様への気配りやサービスと介助方法を学びます。												
授業手法		・対面		○		・遠隔				・対面/遠隔				
アクティブ ラーニング		事前学習型授業				反転授業				調査授業				
		双方向アンケート				ペアワーク				グループワーク				
		プレゼンテーション				PBL				模擬授業				
授業 内容・ 授業 計画	時間数		内容概略						わかる目標・できる目標					
	1～2		1年生の復習 会話：搭乗 手荷物サービス						① 機内での会話を手話で話す ② 表情を豊かに、伝える努力をする ③ 福祉関係の法律や制度、用語を学ぶ ④ 手話単語を正確に覚える ⑤ ろう者と機内会話に挑戦する ⑥ 合理的配慮について理解する ⑥ 車いすの操作・介助が出来るようになる ⑦ 視覚障がい者の状況が理解できる ⑧ 視覚障がい者の介助が出来るようになる ⑨ 航空会社の対応を理解し、実践に移せる ⑩ 高齢者について理解し、介助が出来る					
	3～4		会話：安全性チェック 遅延 座学：テキスト											
	5～6		会話：飲み物サービス 座席案内 食事 座学：テキスト											
	7～8		会話：お出迎え お見送り サービス物品提供 （機内）座学：テキスト											
	9～10		会話：具合の悪くなったお客様への対応 空港案内 座学：テキスト											
	11～12		会話：お客様を迎えましょう（空港） 座学：テキスト											
	13～14		合理的配慮について学ぼう ゲスト講師：ろう者と話そう 講義											
	15～16		前期テスト/復習 DVD視聴											
	17～18		合理的配慮の理解と様々なケースを考える											
	19～20		航空会社の合理的配慮と車いす対応について											
	21～24		高齢者の定義と接客対応について 高齢者疑似体験											
	25～26		高齢者施設での実習準備											
	27～28		視覚障がい・身体障がい者の状況と介助 介助犬について・クロックポジションの活用											
	29～30		後期テスト/筆記試験と実技											
成績評価方法		テスト60% 出席率40%（手話） 出欠席 30%、取り組み姿勢 20%、本試験（確認テスト含む）50%（介助）												
使用テキスト ／教材		オリジナルテキスト「2025年度 手話テキスト」（手話） オリジナルテキスト「サービス介助」、高齢者疑似体験セット（介助）												
関連科目		手話演習												
その他		実務経験のある教員が担当する科目である												

2025 年度

授業科目名		エアラインマインドⅡ												
学科・コース		国際エアライン科／エアラインコース												
担当教員		小尾純子・大橋美穂子												
授業形態(主)		授業形態		履修年次		履修学期		必修・選択		総時間数		単位		
講義		・実技		2		通年		必修		30		2		
授業目的 到達目標		目標に向かって努力し続ける強い精神力を持ち、客室乗務員として、航空業界で働く人材として必要な創造力、対応力、精神力を身につけることを目指します。												
授業手法		・対面		○	遠隔			・対面/遠隔			・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業				反転授業				調査授業				フィールドワーク	
	双方向アンケート				ペアワーク		○		グループワーク		○		ロールプレイ	○
	プレゼンテーション				PBL				模擬授業				その他	
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略								わかる目標・できる目標				
	1～2	体力の維持、食事の重要性①								① 変化に敏感で違いに共感できる。 ② 雑談から相手の要望を聞きだす力 ③ 気が利く人になる。 ④ サービスへのこだわりを持つ。 ⑤ 心身の健康を保つ方法を理解する。 ⑥ タイムプレッシャーに強くなる。 ⑦ 学び、成長を続ける意欲を持つ。 ⑧ 気持ちの切り替えができる。 ⑨ TEAM力向上のCOMを理解する。				
	3～4	食事の重要性② 筋力の必要性												
	5～6	共感すること												
	7～8	TEAM力向上の為のコミュニケーション												
	9～10	会話力は想像力 事例実習												
	11～12	クレームに繋がらないための事例研究												
	13～14	クレーム対応の基本と事例研究												
	15～16	評価												
	17～18	自律神経ケア												
	19～20	クレーム対応 事例研究												
	21～22	クレーム対応 事例実習												
	23～24	クレーム対応 事例実習												
	25～26	客室乗務員のキャリアパス												
	27～28	まとめ												
29～30	評価													
成績評価方法		毎回の提出物60% 期末試験40% 欠席した場合も提出物の指示を教員に確認し、提出すること												
使用テキスト ／教材		講師オリジナル書き込みノート、一日一行 自由国民社												
関連科目		エアラインマインドⅠ												
その他		実務経験がある教員が担当する科目である。												

2025 年度

授業科目名		異文化研究														
学科・コース		国際エアライン科／エアラインコース														
担当教員		松永清美・小澤恵巳子・山梨千恵子・平野広幸・永松典子														
授業形態(主)				履修年次		履修学期		必修・選択		総時間数		単位				
講義				2		後期		必修		30		2				
授業目的 到達目標		異文化を理解し、航空業界はもとより社会人として文化の差異を尊重しながら仕事に活かせるようになることを目標とします。														
授業手法		・対面		○		・遠隔				・対面/遠隔				・オンデマンド		
アクティブ ラーニング	事前学習型授業						反転授業				調査授業		○		フィールドワーク	
	双方向アンケート						ペアワーク		○		グループワーク		○		ロールプレイ	
	プレゼンテーション		○				PBL				模擬授業				その他	
授業 内容・ 授業 計画	時間数		内容概略								わかる目標・できる目標					
	1～2		マナープロトコールについて知る①								① 異文化を理解する ② 自国について再認識する ③ 自分自身の考え方や価値観を明確にする ④ 異文化理解に基づきサービスを創造できる ⑤ 通訳ボランティアを通して異文化に触れ 対応力を身に付ける ⑥ 働くうえで、日本との違いを理解しそれを 認める ⑦ 異文化を学び視野を広げる ⑧ プロコトールに基づいたサービスができる					
	3～4		マナープロトコールについて知る②													
	5～6		自国について													
	7～10		自分の価値観を知る													
	11～14		世界の宗教													
	15～20		様々な国の比較													
	21～26		異文化理解													
	27～30		清水港客船ボランティアについての講義													
成績評価方法		提出物・清水港ボランティア活動の課題レポート50％・授業態度20％・出欠席30％														
使用テキスト ／教材		講師オリジナルプリント														
関連科目		エアラインマインドⅠ														
その他		各自、清水港寄港客船のお客様への通訳ボランティアに参加します。（授業外）														

2025 年度

授業科目名		TOEIC上級（選択）															
学科・コース		国際エアライン科／エアラインコース															
担当教員		阪本知恵															
授業形態(主)		授業形態		履修年次		履修学期		必修・選択		総時間数		単位					
講義		・ 演習		2		後期		必修選択		30		2					
授業目的 到達目標		観光業界全般で必要とされる高い英語力を習得します。実力の裏付けとしてTOEIC高得点獲得を目指し、自己学習の習慣を徹底します。															
授業手法		・ 対面		○		・ 遠隔				・ 対面/遠隔				・ オンデマンド			
アクティブ ラーニング		事前学習型授業		○		反転授業				調査授業				フィールドワーク			
		双方向アンケート				ペアワーク		○		グループワーク				ロールプレイ			
		プレゼンテーション				PBL				模擬授業				その他			
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略								わかる目標・できる目標							
	1～18	テキスト演習 リーディング・リスニング								① TOEIC各パートの特徴を理解する ② 正解へのポイントを理解する ③ 正解へのポイントを問題に活かせる ④ 英語の音声に近づけて再現できる ⑤ 頻出単語を習得する ⑥ 頻出イディオムを習得する ⑦ 言い換え問題に対応できる							
	19～30	模擬試験															
成績評価方法		出欠席(20%) 単語テスト(40%) 小テスト(40%)															
使用テキスト ／教材		・ 公式TOEIC LISTENING&READING プラクティス リーディング編 リスニング編 (国際ビジネスコミュニケーション協会) ・ 講師作成プリント															
関連科目		エアラインTOEIC対策Ⅰ															
その他		※毎授業辞書を持参すること															

シラバス（授業概要）

2025 年度

授業科目名		秘書知識（必修選択科目）																
学科・コース		国際エアライン科／エアラインコース																
担当教員		松永 清美																
授業形態(主)		授業形態		履修年次		履修学期		必修・選択		総時間数		単位						
講義		・実習		2		後期		必修選択		30		2						
授業目的 到達目標		秘書業務に限らず、社会人として心得ておきたい接遇マナーや文書作成等を学びます。 また経済用語や社交場の知識など組織で役に立つ知識を習得します。秘書検定2級取得を目指します。																
授業手法		・対面		○		・遠隔				・対面/遠隔				・オンデマンド				
アクティブ ラーニング		事前学習型授業		○		反転授業				調査授業				フィールドワーク				
		双方向アンケート				ペアワーク		○		グループワーク				ロールプレイ				
		プレゼンテーション		○		PBL				模擬授業				その他				
授業 内容・ 授業 計画	時間数		内容概略								わかる目標・できる目標							
	1～2		秘書の仕事と必要とされる資質								①社会人に必要な自覚と心構えがわかる ②人間関係調整力が身に付く ③企業活動の目的と組織がわかる ④社会常識として知っておきたい用語がわかる ⑤上手な話し方・聞き方のコツがわかる ⑥報告・説明のポイントがわかるようになる ⑦接遇用語が使えるようになる ⑧交際業務について理解することができる ⑨秘書的業務についての理解を深め、就職に活かせる							
	3～5		職務知識（秘書の仕事の機能と上司との関連）															
	6～9		一般知識（社会常識・時事問題等）															
	10～14		マナー接遇（人間関係とマナー・話し方・交際）															
	15～18		技能（会議・文書柵瀬・資料管理・スケジュール管理）															
	19～26		2級検定対策（実問題より）															
	27～30		総まとめと期末試験 ロールプレイング応対練習															
成績評価方法		小テスト（30％） 期末試験・検定結果（50％） 出欠席・取り組み姿勢（20％）																
使用テキスト ／教材		秘書検定2級実問題集・パーフェクトマスター（早稲田教育出版）																
関連科目		客室実習Ⅰ																
その他																		